

令和3年度 学校自己評価アンケートのまとめ

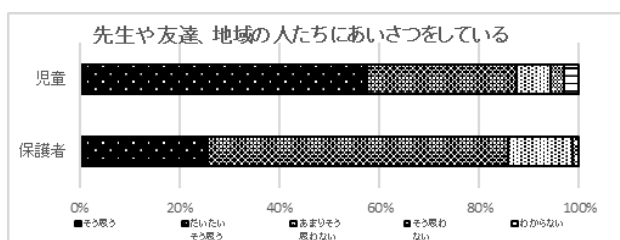
千曲市立更級小学校

平素より本校の教育にご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。

本年度実施した学校自己評価アンケートのまとめをいたしました。本年度の成果と課題を明確にし、来年度の指導につなげてまいりたいと考えております。

ご覧いただき、一層のご支援をよろしくお願いいたします。

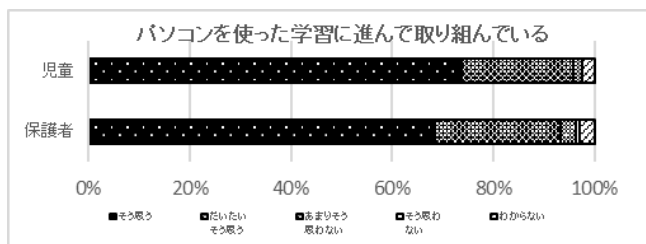
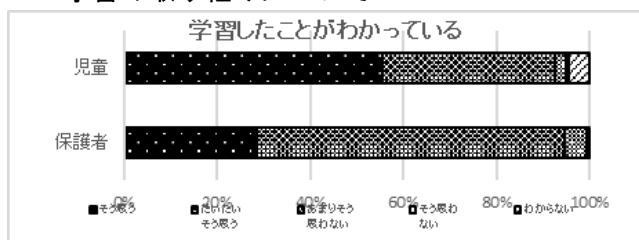
1 あいさつについて



児童、保護者の85%以上ができていると回答しています。児童会を中心に「あいさつ運動」を進め、気持ちの良いあいさつ、自分から先に声を出すあいさつを進めています。あいさつは、コミュニケーションの基本であり、相手の存在を認識し、尊重する意識にもつながります。

学校では、引き続きあいさつの大切さや、あいさつの仕方について指導を進め、校内だけでなく地域でもあいさつができる子どもを育てていきます。ご家庭でもお子さんとあいさつの大切さについてお話しいただき、あいさつの輪を広げていきたいです。

2 学習の取り組みについて



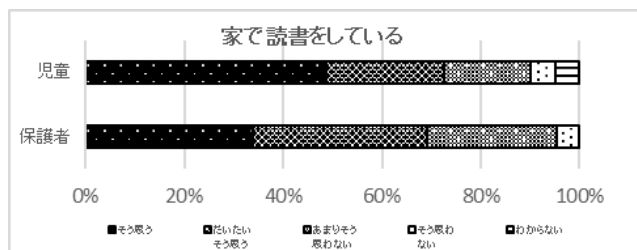
児童、保護者の92%以上が「学習したことがわかっている」と回答しています。本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三密を避けるなど児童の学習活動に制約がありましたが、「授業のユニバーサルデザイン化」「一人1台のパソコン

ンを使ってICTを活用した学習活動の充実」などを中心に、授業の改善や充実に取り組みました。

児童、保護者の93%以上が、「パソコンを使った学習に進んで取り組んでいる」と回答しています。児童の学習意欲を高め、学習内容の定着をはかるために今後もICTを活用した学習活動の充実をしていきます。

一方、「学習したことがあまりわかっていない」と回答される方もいます。学校では、今後も、全国学力・学習状況調査やNRT、単元テストなどの結果の分析、日頃の授業の姿から、「読む、書く、話す、聞く」などの学習活動に効果的に取り組めるよう工夫し、児童の基礎的・基本的な内容が確実に身につくように、児童一人一人の実態をつかみ、進度を工夫し、授業改善に取り組んでいきます。

3 読書について

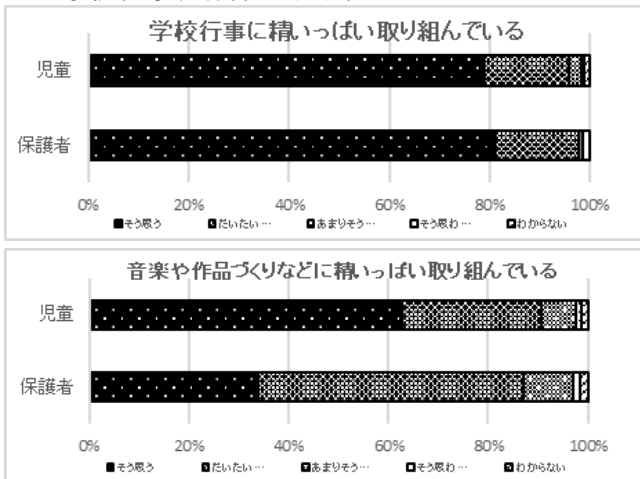


	貸出総数	一人当たりの冊数
令和3年度	52,310	325
令和2年度	43,211	271
令和元年度	42,550	271

本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から図書館を利用する時間を学年ごとに分散して限定しましたが、一人当たりの冊数は昨年度よりも大幅に増加しました。子どもたちが多くの本に親しむことができました。

一方で、昨年度よりも「進んで家で読書をしていると思わない」と回答している割合が増えています。学校では毎日図書館へ行く時間を設け、図書袋を毎日持ち帰ることを促し、家庭学習に読書を取り入れたり、毎月の親子読書デーを設けたりして、家庭での読書を勧めてきました。今後もご家庭で読書をする時間を設けていただき、親子読書にご協力いただくようお願いいたします。

4 学校行事、作品の取り組みについて



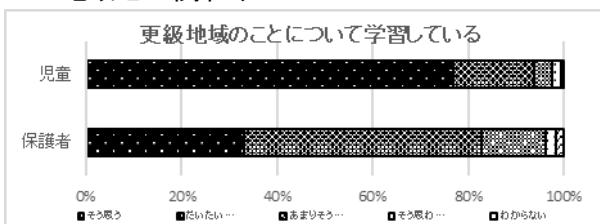
児童、保護者の95%以上が「学校行事に精いっぱい取り組んでいる」、児童、保護者の87%以上が「音楽や作品づくりなどに精いっぱい取り組んでいる」と回答しています。学校では新型コロナウイルス感染拡大予防をしながらも、児童が表現したり達成感を感じたりできる機会を大切にしてきました。本年度は保護者の皆様に児童の作品を見ていただく機会が限られてしまいまい残念でしたが、今後も児童が様々な表現の場や方法で自分を表現できるように指導を継続していきます。

5 運動の取り組みについて



児童、保護者の83%以上が「運動に進んで取り組んでいる」と回答しています。本年度も朝の3分間マラソンや縄跳びの時間を設け、カードに自分の記録を積み重ねていくことで、進んで運動に取り組む姿が見られました。さらにPTAから竹馬と一輪車を購入していただいたことで、運動に親しむ機会も増えました。

6 地域との関わりについて

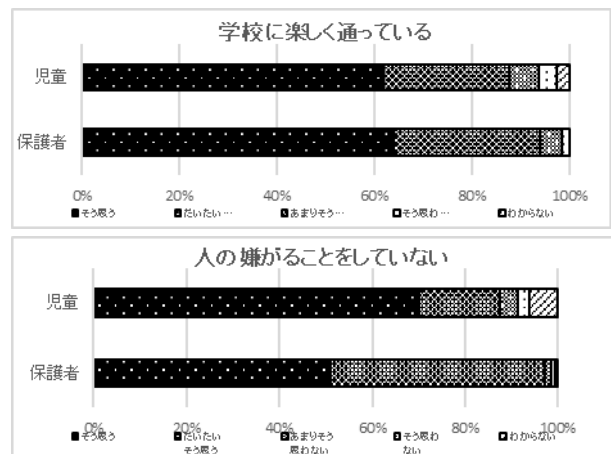


児童、保護者の82%以上が「地域のことを学習している」と回答しています。本年度は縄文まつり集会を行うことができ、地域の方にご協力い

ただきながら縄文服作りや縄文太鼓、更級地域の学習などを通して、児童は地域について学習することができました。本校の児童は、安全パトロールの皆さんをはじめ地域の多くの皆様に支えられています。今後も学校では「ふるさと更級」に関わる学習を取り入れ、生まれ育った故郷に対する理解を深め、愛する心を育てるよう努めています。

今後も、地域の皆様を目で児童を見守り、育んでいただきますようお願いいたします。

7 人権意識について



児童、保護者の87%以上が「学校に楽しく通っている」、「人の嫌がることはしていない」と回答しています。「人の嫌がることはしていない」と回答した児童、保護者は昨年度より増加しました。また、児童、保護者の88%以上が「たてわり活動などで、他学年の人と楽しく遊んでいる」と回答しています。一方、「学校へ楽しく来られていない」「人の嫌がることをしてしまった」と回答している児童も少数います。

児童が安心して生活できる学校は、児童の人間関係の安定や学力の向上にも関わります。楽しく登校できていないと感じる少数の児童の思いを大切にくみ取り、すべての児童にとって居場所のある学校づくりに、さらに努めてまいります。今後も感染拡大予防に努めながら、たてわり活動などの異学年交流の機会を大切にしていきます。

8 保護者の皆様からのご意見

- たてわり活動のお陰で学年を超えて、1年生に優しく声がけをしてくれる上級生を見て嬉しく思います。
- コロナ禍で感染対策に注意しながら行事開催する機会を設けていただきとてもありがたいです。

アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を大切に受け止め、職員で共有し、指導すべき内容については適切に指導しながら、今後に生かして参ります。

これからも児童が来たいと思える学校づくりを目指し、また学力を高め、健やかに成長し、ふるさと更級を一層愛する児童を育てるために、指導を重ねて参ります。今後も、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。